

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	32620	電話	042-769-8261
担当部課名	土木部	土木計画	課	指導 班
事務事業名	雨水浸透能力調査費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第6節	下水道の整備と管理	63以前年度
施策名	第2施策	雨水対策の推進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

都市計画法 相模原市開発行為等指導要綱 相模原市雨水浸透ます設置助成金交付要綱
---

## 3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
雨水浸透施設の現場浸透実験を行い、開発行為指導要綱適用事業における雨水調整施設設置の基準(設計浸透量)の基礎資料とする。 1 雨水浸透施設の設計浸透量を確定すること。 2 施設の耐用年数(浸透量が0になるまでの年数)を推測すること。 主として新築や改築時に設置される雨水浸透ますの効果及び維持管理の方法の検討 3 雨水浸透枳設置助成金交付事業で設置した浸透ますの効果を確認すること。		浸透式マンホール 雨水浸透ます 対象数 : 1箇所2回 : 3箇所1回	
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
雨水浸透試験調査業務委託 浸透式マンホール及び雨水浸透ますの現場浸透実験を実施した。 実施箇所 浸透マンホール1箇所 雨水浸透ます3箇所 回数 2回 各1回			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	なし		
計画年次	年度～年度		

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

				15,16年度は目標値				
	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	実施率	$(\text{実験実施箇所数} \times \text{実験実施回数}) / (\text{実験予定箇所数} \times \text{実験予定回数}) \times 100$		12	13	14	15	16
						100		
活動指標								

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額			1,281		1,300
	人員・時間数			8人・18時間		8人・18時間
	人件費			599		599
	その他経費					
	合計	0	0	1,880	0	1,899
特定財源						
対象数						
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	昭和62年から平成8年までの6回の浸透実験及び今回の追加実験により浸透マンホールについては、設計浸透量の決定及び耐用年数の把握のための基礎データが得られた。雨水浸透ますについては、その効果及び維持管理の必要性が確認できた。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 雨水浸透施設の効果は浸水被害の解消だけでなく、地下水の涵養という副次的な効果がありその効果は定性的には理解されているが定量的な評価が必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	雨水浸透施設の浸透能力を把握し、今後の雨水対策の推進を図るために必要となる基礎データを得る上で有効である。
(4)効率性 評価 ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： 雨水浸透ますの測定箇所を全市的に広げ、その効果を評価することが求められる。今回の調査では、施設の機能回復効果の確認まではできなかったため今後施設の維持管理という視点から調査を継続したい。	手段	
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		実物の雨水浸透実験を継続実施している他自治体はなく、本事業は先進事例として問い合わせも多い。横浜市 川崎市 町田市 座間市 厚木市 上田市(長野県) 京都府 鹿児島市 福岡市 富山市 西宮市ほか
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	当初の事業目標は達成しているが、成果向上の余地で説明したように、浸透施設は目詰まりという宿命を抱えた施設であり適切な維持管理を継続する必要がある。このため、維持管理(洗浄、清掃、フィルターの設置方法)という視点から調査を継続したい。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--